

トピックス

■【大阪・梅田】うめきた2期地区 開発事業者の決定

7月12日うめきた2期地区開発に向けて、UR都市機構は開発事業者の決定を発表をした。その事業者には「三菱地所、大阪ガス都市開発、オリックス不動産、阪急電鉄、積水ハウス」等、15社の有名企業が名を連ねる。

事業企画の提案として『「みどり」と融合した生命力と活力あふれる都市区間』『新たな価値がうめきたから関西へ、国内外へと広がるマネジメント』の内容を含んだ「希望の社-Osaka“MIDORI”LIFE 2070 の創造-」をコンセプトに掲げ、開発区域の約24haのうち4.5haを都市公園とする計画だ。高層ビルが建ち並ぶ大阪梅田の市街地に「みどり」の空間が生まれる事となる。その都市公園は北公園、南公園に分けられ、その公園を繋ぐ「ひらめきの道」は立体通路として南北の公園とJR大阪、グランフロント大阪を結び、更には北街区と南街区に建設予定のオフィス、ホテル、住宅の民間宅地へと続く大規模な立体通路となる予定。

阪急電鉄を傘下に置く阪急阪神HDは既存の阪急梅田駅含め周辺エリアの約40棟のオフィスビル、商業施設の価値向上を、積水ハウスは同社グループが運営する梅田スカイビルへの訪日客らの回遊を、このうめきた2期地区の開発事業に期待する。工事着工は2020年10月以降を予定、そして2024年の夏頃から一部開業を目指す。

■【阪神甲子園球場】第100回全国高校野球選手権、始まる

6月23日、記念すべき第100回を迎える全国高校野球選手権大会の地区予選が北海道と沖縄を皮切りに始まった。3,781校が夢の舞台、甲子園を目指す。

第100回記念大会ということで例年より7校多い56校が各地区の代表として選ばれる。中でも強豪高校の多い大阪は注目度も高く、7月21日に行われた北大阪地区の大阪桐蔭戦は「来場者多数の見込み」を理由に豊中ローズ球場から大阪シティ信用金庫スタジアム(舞洲)へ変更されるほどだ。

また本戦の甲子園での試合中継を行うNHKは初製作となるテーマソングに福山雅治を起用、開会式の始球式には巨人、ヤンキースなどで活躍した松井秀喜が登場するなど著名人もこの大会を盛り上げる。キャッチフレーズは全国の高校生の公募から選ばれた「本気の夏、100回目。」

酷暑とも言われる今年の夏の熱戦は、8月2日(木)に組み合わせ抽選会、8月5日(日)に開会式、17日間の開催で8月21日(火)に決勝戦が行われる予定。

■【京都】プチバブル到来、やはりインバウンドがカギ

7月23日、京都市は2017年に訪れた観光客の観光消費額が2年連続の1兆円超えの1兆1,286億円と過去最高となった事を発表した。中でもインバウンド(訪日客)の消費額2,632億円は全体の約24%と数字を後押ししている。インバウンドの消費単価は日本人観光客の1.9倍となり主に宿泊代、交通費、入場料・拝観料が前年よりも大きく増加している。観光客数としては全体で5,362万人、前年比97.1%と微減したがインバウンドの観光客数は743万人(前年比+82万人)とやはりインバウンドが数字を押し上げている。観光客の男女比では女性が65.6%と女性の割合が高くなっている。

そういった背景の中で京阪HDは京阪三条駅に直結するビルを改装しカフェとホテルが融合した新ブランド「CAFETEL京三条」を7月2日にオープンした。当施設の利用は女性専用で共有スペースにはヘアアイロンなど美容家電を揃えている。宿泊費等は抑え、体験などにお金を消費したい考える30代女性をターゲットに向け、1人3,500円〜とリーズナブルな値段設定になっている。

■【大阪・天王寺】暑い夏には夜のハルカス屋上と美術館で

地上300m・あべのハルカスの屋上を歩くアトラクション「エッジ・ザ・ハルカス」が7月14日よりナイター営業を開始した。同アトラクションはビルの最頂部にある幅約60cm、長さ約20mのデッキを専用のユニフォームと命綱を着けて歩くというスリル満点のアトラクション。当日申込のみで18:00~21:00の実施。料金は一律1,000円(税別・展望台入場料は別途必要)

あべのハルカス美術館では12日より「チームラボ 学ぶ! 未来の遊園地」が開幕、チームラボの展示はアートやデザインを最先端の科学技術と融合させたデジタルアートを使い、日本をはじめとしたアジアだけでなく米国や南アフリカ、中近東などでも展開。今春には国内外の累計来場者が600万人を突破した。(7月23日・30日、8月6日は休館。9月2日までの展示、開館時間は10時~20時。料金は大人1,400円、中高生1,000円、3歳~小学生600円。)

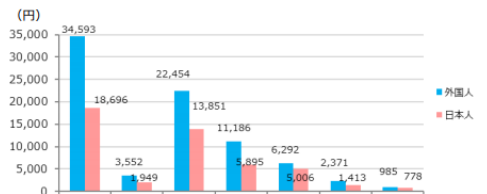


▲図内赤線部と青線部が全て立体通路として繋がる



▲ひらめきの道の完成イメージ

▼福山雅治が歌うテーマソングのタイトルは「甲子園」



▲日本人と外国人(訪日客)の消費単価



▲CAFETEL京三条内装



▲前衛的なアートと最先端の技術を展開するチームラボ